

狭山に息づくたくさんの宝物

～ 民話めぐりウォーキングを体験して～

狭山の民話を広めるプロジェクト

昨年スタートした民話めぐりは、笹井、広瀬、柏原と、地元詳しい講師の方々に案内して頂きながらウォーキングしてまいりました。

畑の隅や道の辺に佇むお地蔵様、道祖神、庚申塔、又、静かな森の神社・仏閣、それぞれの地区に大切に語り継がれ守り継がれた民話のルーツを知る事が出来ました。

4月に予定していた“奥富めぐり”が雨のため中止になり、改めて6月には入曽地区で実施する予定になっております。

今回は以前訪れた時の“ひとこま”を記したいと思います。



入間川河畔のメタセコイアの化石



笹井地区で

笹井にはメタセコイアの大木が見下ろす所に笹井ダムがあります。今でも200万年前に土に埋まったメタセコイアの化石が水の少ない時には河原の石や岩の間から見付ける事が出来ます。その昔、このダムの辺りは“竹ヶ渚”と言われていました。その渚にはカッパ伝説や、大水から村を救うため龍神に嫁いだ「龍神様と倭子姫」の伝説も残っています。

又笹井には、悲しい戦災の話しを、毎年5月になると思い出す方が多いと聞きました。

昔話となるには、まだ歴史の浅い出来事です、忘れずに語り継いでいきたい事です。こんな風にあの渚、あの崖、あの山、あの里、あの森の民話を大切に、ふる里の想いを深めていきたいと思えます。

(小樽 記)

今後の予定

6月29日(金)＝入曽地区 入曽公民館 集合 出発 10:00 行程＝約 2.5km

風が吹いている
ころぼそげに 吹いている
雲が飛んでいく
真綿が飛ぶように とんでいく
風はどこから吹いてくるのか
雲はどこへいこうとしているのか
風は語ろうとしない
雲は話そうとしない

あるとき
村の男が風を呼びとめた
雲に話を聞いた

おまえの村には 太陽が かがやいていたんさ
ある日怒って 岩の扉を 閉じた
困った村の人たちは扉のまえに集った
笛を吹き 太鼓を叩き 踊った
太陽は楽しいことが 大好きだった
誘われて 扉を開けたんだよ
そして あの時以来
この村は明るくなったのさ

風よ 雲よ ありがとう

今坂柳二 作

風の名をたずねた
雲は名を教えてくれた
風は「ヒエダ」だと答えた
雲は「アレ」ですと言った
男が言った
おれはオオノヤスマロです
きみらの昔語りは 私が書きとめた
誰にでもわかる いい話しだったよ
ありがとう ヒエダくん アレくん